

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

支所統合等実施案で、住民説明会

学区住民・厳しい意見相次ぐ

大津市

支所統合などを伴う大津市の市民センター機能あり方実施案の日吉台学区住民説明会が6月30日、日吉台学区市民センター大会議室で開かれた。この住民説明会には、市側から井上佳子・市民部長ほか自治協働課職員、市民センター改革推進室職員、学区民側は住民約80人出席した。「市民の76%がセンター統合に反対している」、「この説明会は、実施のためのアライバイづくりだ。市内では残す支所、なくなる支所があり、行政は住民に公平であるべき。撤回せよ」など、市が示した実施案に出席した住民から厳しい意見が相次いだ。

市側、実施案に理解求める

職員を配置させる」とした「市民センター機能等あり方実施案」を発表、住民の理解をえるため順

次各学区で住民説明会を開催している。今回提示された実施案では、日吉台支所は、2024年度まで支所として残り、職員は配置される。窓口業務は、住民票の写し、印鑑証明、所得証明の発行業務、保険、年金、介護など福祉サービス、の届け、相談は取り扱うが、戸籍謄本、抄本等の各種証明書発行、戸籍、住民基本台帳の届け出、市税に関する届け出、公共料金の取り扱いは廃止となる。これら取り扱い窓口時間は、午前9時から午後3時までで、窓口業務は、従来より時間短縮される。

日吉台支所など対象の支所の多くで、職員の削減や窓口業務の見直し、窓口業務時間の短縮などの住民負担を求めている。手放しでは喜ばない内容。市は「素案でさまざまな意見があり、実施案で見直した。実施案についても皆さんの意見を参考に、23、24年度で再度検討することになっている」と答え理解を求めた。

福祉バザーに物品提供呼びかけ

学区社会福祉協議会

日吉台学区社会福祉協議会（呉屋之保会長）は、9月8日、日吉台市民センターで開催予定の「第15回福祉まつり・敬老のつどい」で実施される福祉バザーの物品提供をよ

洗剤、台所用品、浴用洗面用品、缶詰、カップ麺類、レトルト食品、乾物類など生もの以外、未开封で賞味期限内のもの、食器、衣類、文具、雑貨おもちゃ等。物品の提供は、9月6日までに市民センターへ持参していただくか、北村さん（578-3798）か竹村さん（579-15030）へ連絡。

園舎解体工事始まる

認定こども園開設に伴い

認定こども園開設計画に伴い大津市による旧日吉台幼稚園園舎解体工事が、7月18日始まった。解体工事初日は、工事業

末ごろまで。日曜日、祝日、お盆期間中と年末年始を除く午前8時半から午後6時の間。主な工事内容は、7月中旬から8月中旬、敷地周辺の仮囲いと樹木撤去工事▽8月下旬から9月末、外壁、煙突等のアスベスト除去工事▽9月下旬から12月中旬、園舎撤去工事▽10月中旬から11月下旬、プール、遊具、樹木撤去工事▽12月、地中構造物撤去工事となっている。



市民センターで開催される学区住民説明会

市は、平成29年暮れ、市民センターあり方検討のなかで、現在の36支所を10支所に統合する支所再編、集約化計画を決め、素案として発表した。この素案では日吉台支所は、同じ中北ブロックの雄琴、下阪本、唐崎支所とともに坂本支所へ統合されることになっていた。素案提示後、市内では統合、集約となる支所を持つ学区を中心に強い反対運動、反発する声が相次いだ。

学区「人・推協」夏の集会開催



会場いっぱい住民がつめかけ行われる学区人推協夏の集会会場

第51回人権を考える大津市民のつどい日吉台学区「夏の集会」が6月30日、日吉台市民センターで開催、落語

集会には、日吉台学区の「人権・生涯」学習推進協議会構成員や住民約80人が参加。栗津広之・学区「人権・生涯」学習推進協議会長が「集会を重ねるたびに自分も人も大切に人権尊重のまちづくりが広がりをみせている」とあいさつした。

集会講師の笑福亭松枝さんは、大阪府貝塚市生まれで、1969年、故6代目 笑福亭松鶴師に師事。99年の文化庁・芸術祭、落語「立ち切れ」で優秀賞を受賞。著書に「ためいき坂くちぶえ坂」、「当世落語家事情」などがある。



認定こども園開設計画に伴い園舎改築工事が始まった日吉台幼稚園

全国のまちづくりグループを前に成果発表

「まちづくり」見据えた空き家対策事業を報告

住まい活動助成事業研究交流会で

空き家対策委

昨年度、日吉台学区空き家対策委員会が助成を受けた「ハウジングアンドコミュニティ財団」が行う「第2回住まい活動助成事業研究交流会」が7月12日、京都市下京区の「ひと・まち交流館京都2階大会議室」で開かれ、濱崎博・学区空き家対策委事務局長、野々口義信・同対策委員長、林堅太郎・学区まちづくり協議会長、村澤真保呂・まちづくり協議会事務局長が出席、濱崎事務局長が、学区空き家対策委の活動報告を発表した。



発表会で報告する濱崎・空き家対策委事務局長

同財団は、1992年の財団設立以来、豊かな住環境の創造に貢献することを目的に市民団体や



NPO法人などに対し延べ350件を超える助成をしている。一昨年「住まい・コミュニティづくり助成事業」のなかに新たに「住まい活動助成部門」を新設、人口減少や少子高齢化社会を背景にした多様な住宅問題に取り組む活動にも助成を行うことになり、平成30年度に日吉台学区空き家対策委が「空き家を資産として活用する団塊世代に

よるまちづくり活動」をテーマに応募、取り組みが認められ助成を受けることになった。

第2回住まい活動助成事業研究交流会には、北宮崎県気仙沼市、南は宮崎県都城市のまちづくりグループなどが参加、30年度で助成を受けた9団体の活動成果報告、令和元年度で助成を受ける10団体の活動報告が行われ、会場に詰めかけた学会、行政、まちづくり関係者ら約100人らと意見交換した。

日吉台学区の発表には、濱崎事務局長が、日吉台学区の沿革やまちづくりと関連させた学区の空き家対策の取り組みを報告。特に空き家対策をまちづくりと捉えた学区のユニークな活動に、会場の関心を呼んでいた。

きない車庫が多い。最近複数のマイカーを所有する住民から学区空き家対策委に学区内で空きガレージを捜してほしいとの声が寄せられていた。

学区内では、高齢化で運転免許を返納して車を処分した人や車を運転しない人らが増え、ガレージが空いている住宅がみられる。空き家対策委では、これら空きガレージを貸し出せる人を募集、車庫を必要とする人に斡旋しようとする事業。駐車料金は有料。学区空き家対策委は、具体的な契約方法などは、まだ決まていないが、貸したい人がみつかり、話し合いが進むなかで細部を詰めるとしている。車庫として貸し出してもよいという人は、空き家対策委の濱崎事務局長(0901505315455)まで。

空きガレージ、募る

路上駐車防止などで、空き家対策委

「空いているガレージはありませんか」学区空き家対策委員会は、路上駐車を防ぐため、学区住民の戸建て住宅敷地内で使われなくなったガレージを車庫として貸すあつ

せん事業の実施を決め、空きガレージの募集をしている。

学区内では、マイカーを複数所有する世帯が増加しているが、学区の住宅地では1台しか駐車でき

小学校で防犯訓練



日吉台小学校(熊川芳彦校長)で7月4日、不審者対応と避難訓練を兼ねた防犯教室が開かれた。写真。

全校児童118人と教職員14人が参加、大津市こども安全リーダー連絡協議会、日吉台学区自主防犯推進会、大津警察署生活安全課、坂本交番の

協力のもと、木刀を持った不審者が北校舎体育館側出入口から侵入し、西階段を上ろうとしているという想定。

体育館で授業中の教諭が不審者に気づき、訓練開始。インターフォンで連絡を受けた職員が110番通報するとともに、先生たちが協力して教室内に犯人が侵入しないよう校舎や廊下扉を施錠し、犯人を遮断。熊川校長らがサスマタや竹ぼうきなどで侵入者と対峙する間に、駆けつけた警察官が不審者の身柄を確保した。訓練後、体育館に避難した子どもたちを対象に寸劇による防犯教室を開催。不審者と出会った時の対処の仕方と演技による身の守り方を指導。「誘拐に合わないための5つの約束」を全員で唱和して訓練を終えた。

「まちづくりカンパニー」と名称変更へ

全体会議で活動方針決定

まちづくり協議会

日吉台学区まちづくり協議会(林堅太郎会長)の2019年度全体会議が6月30日、市民センターで開催、学区自治連合会特別委に所属していた「まちづくり協議会」を学区の各種団体に組織体制を移行、名称を「まちづくりカンパニー」に改

める検討案など、本年度の活動方針を決めた。

まちづくり協議会は、12年度、日吉台幼稚園の廃園計画をきっかけに、学区の各課題に対処するため構成メンバーを住民公募して発足。これまで日吉台新聞発行、空き家対策、子育て応援、野菜

マルシェ、文化などの事業を展開してきた。

このまちづくり協議会は、学区自治連合会の特別委員会として活動してきたところ、大津市が、市民センター改革で、市内全域で新たな地域自治組織として「まちづくり協議会」の設置を提唱。

学区のまち協と市の名称が同一であり、市の設立提唱する「まち協」は、市民センター改革で検討されている支所や日吉台公民館民営化後の地元運営受け皿組織になるので、との指摘もあった。

このため、学区のまち協は、混同を避け市の計画と区別するため組織体制の移行、名称変更案を活動方針案に盛り込んだ。

組織体制の移行と名称変更は20年度の実施をめざし調整、今後、自治連と協議しながら進めていく。また今年度中に健康事業部を新設することも決定した。

恒例・ラジオ体操開催



日吉台学区夏の恒例、ラジオ体操が7月23日、日吉台小学校グラウンドで始まった。今年は8月30日まで。雨で初回開催が1日順延となったこの日、久しぶりに青空が広がり、96人の学区民、子どもたちが参加した。

参加者らは、朝の新鮮な空気を体いっぱい吸い込み、おなじみのラジオ体操の伴奏に合わせ体をほぐしていた。

学区民会議の日吉台夢・未来事業推進委員会が夏休み期間中、毎年行う行事で、開催時間は、午前7時から約10分間。土、日、祝日、お盆の期間を含む10日18日を除く平日に実施。雨天の場合は、中止となる。日吉台小には、駐車場はなく自家用車、自転車での来場はできない。学校の敷地内は禁煙、犬、猫などのペット類と一緒にの入場も禁止されている。(写真は日吉台小学校で始まったラジオ体操)

学区すっきり・市民清掃



日吉台学区の琵琶湖市民清掃が6月23日、学区全域で行われた。写真。

大津市の琵琶湖を美しくする運動実践本部主催の琵琶湖岸一斉市民清掃作業に呼応して実施するもの。

この日の一斉清掃は、朝から曇り空となり、清掃作業をするのには暑くもなくまずまずのコンディション。昨年に比べ約20人強多い890人が参加。草刈ガマや竹ぼうき、熊手など思い思いの清掃用具を手に地区の道路や斜面、側溝などの作業に汗を流した。